

【身振りサイン辞書を使用しているときのK君の様子】

教材「K君の独自身振りサイン辞書」作成の背景

高等部肢体部門3年生のK君は、発語は乏しいものの内言語は豊かで、理解力・記憶力にも目を見張るものがある。

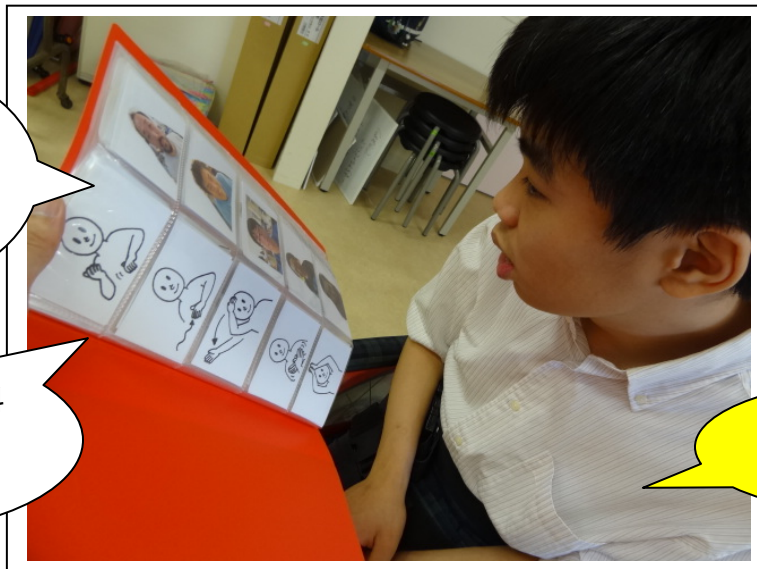
担任の名前を、一つの身振りサインで試してみるとすぐに定着した。その後、徐々にではあるが、クラスメイト全員と担任団のほとんどもを覚えた。

以上のことから、卒業後や家で活かせる K 君専用の身振りサイン辞書を作成した。

市販のクリアファイルに、イラストを入れている。

イラストは、美術科教師に依頼した。

真剣なまなざしです。



表情豊かに、表現しています。

クラス内で教員・生徒全員で共有できる言語となった。

本人の自信になるだけでなく、クラスの団結や活性化につながった。



氏名・名詞から、気分・欲求表出へとつなげる。